

(1) 本町の特性や地域課題に対する実効性などを見極める必要があるため、現時点で地域PMの導入を前提とした検討は行っていない。他市町村の事例を参考にしながら、地域の課題に即した形で制度導入の必要性と目的化を防ぎ、調査研究に努める。



塚本 逸彦 議員 (政清会)

問 教育施策推進における地域プロジェクトマネー ジヤーの導入について

現時点では導入を前提とした検討は行っていない

再質問

近年、教育現場では多様な課題に対応するため、複数の事業や施策が同時並行で進められることが増えており、こうした状況の中、全国の自治体では事業の進行管理、関係者間の調整、成果の可視化などを専門的に担う「地域プロジェクトマネージャー（以下、「地域ＰＭ」という。）」が導入されており、教育施策の質と効率性の向上に寄与すると考え、以下の点を伺う。

答 教育現場は自由進度教育や不登校対策、フリースクール等多くの課題を抱えている。人材不足やノウハウの確立のため、専門性を持つ同制度の必要性について伺う。

教育現場の課題や新たな取組について、学校現場では日々苦労しつつも工夫を凝らして対応している。地域PMは官民連携による重要プロジェクトに取り組む場合の活用がポイントとなつており、ご指摘内容は焦点を絞った細かな取組であるため、現時点で制度を活用する状況にはないと考える。

答

教育現場の課題や新たな取組について、学校現場では日々苦労しつつも工夫を凝らして対応していく。地域PMは官民連携による重要なプロジェクトに取り組む場合の活用がポイントとなつており、ご指摘内容は焦点を絞った細かな取組であるため、現時点で制度を活用する状況にはないと考える。

問	答
幕別町アイヌ文化拠点施設の運営について	地域の誇りとなる拠点を目指し、取組に努めていく

問

答 問
幕別町アイヌ文化拠点施設の運営について
地域の誇りとなる拠点を目指す、双組にて、

これまでアイヌ関連団体の協力を得て講座を開催してきた実績があり、今後も連携・協力体制の構築を図っていく。また、施設には芸員の配置を計画している。

(2)デジタルアーカイブは、歴史的文書や文化財等の貴重な資料をデジタル化し、劣化や紛失リスクを減らし、ネットワークを介して広く活用できる仕組みである。災害

(3) 地域住民や学校と連携の考えは
教育長

(1) 施設の管理運営について、アイヌ文化に精通した団体が担うこと が望ましいが、現状では指定管理者の指定を受ける体制には至って いないため、供用開始時においては、町直営で準備を進めている。

事業の現状と今後の展望について以下の点を伺う。

- (1)直営体制で管理・運営される予定であるが、アイヌ関連団体との連携、学芸員の配置体制の計画は。
- (2)所蔵資料のデジタルアーカイブ化の予定は。

時の損害把握や資料保存にも有効である一方で、著作権確認や費用負担など課題も挙げられる。蝦夷文化考古館は、学術的価値の高い資料を収蔵しているが、現時点でデジタルアーカイブ化について具



「アイヌ文化拠点施設」 国道東側からみた外観イメージ